

KN グローカルリサーチレポート

2018年6月
No.26



今年の浜松祭りも晴天に恵まれ、子ども達の成長を願う凧が大空を舞いました。日本の未来を担う子ども達を、地域で支えていく時代となりました。

子どもの数 1,553万人で最小更新 浜松市内の20才未満は 146,091人(全体の18.1%)

総務省は14才以下の子どもの推計人口を昨年より17万人少ない1,553万人と発表した。37年連続の減少で、総人口に占める子どもの割合は12.3%となった。

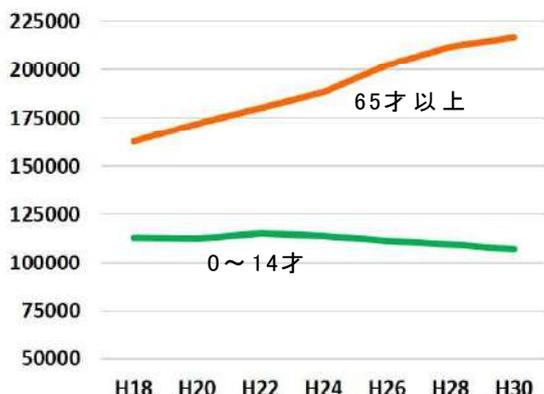
【浜松市内の子どもの数は、11万人前後で漸減】

浜松市内の14才以下の子どもの数は107,295人と全人口の13.3%となっている。ここ10年間では約11万人前後で漸減している(一方で、65才以上はH18年に比べ約3割増えている)。

■表1 浜松市内の子どもと高齢者の人口の推移 (単位:人)

	H18	H20	H22	H24	H26	H28	H30
0~14才	112,874	112,684	115,552	114,026	111,436	109,504	107,295
65才以上	162,878	172,233	180,112	188,246	202,085	211,928	216,755

子どもの数を区別で見ると、総数では中区が約3万人と最も多いが、割合からは浜北区が最も高い。



■表2 区別・年齢別人口 H30年4月1日現在 (単位:人)

	0~14	15~19	20~64	65~	合計
中区	29,938	11,182	135,339	61,544	238,003
東区	18,607	6,378	72,711	32,743	130,439
南区	13,440	5,030	57,126	27,410	103,006
西区	15,445	5,944	60,040	30,049	111,478
北区	12,312	4,521	50,018	26,898	93,749
浜北区	15,311	4,729	53,600	25,394	99,034
天竜区	2,242	1,012	13,309	12,717	29,280
合計	107,295	38,796	442,143	216,755	804,989

浜松市内の待機児童は97人に減少 (97人の内、浜北区33人・中区22人、また、1歳児が84人)。

浜松市内の待機児童はH27年の407人をピークに、H30年には97人に減少した。

国は待機児童の解消を政策課題としており、浜松市でも「子ども・若者支援プラン(H27年度~H31年度)」に

■表3 待機児童と保育所等の施設整備 (単位:人、億円)

	H25	H26	H27	H28	H29	H30
定員	8,930	9,210	11,201	12,711	14,156	15,108
利用数	9,554	9,812	10,502	11,427	12,353	13,059
待機数	269	315	407	214	168	97
整備費	4.9	7.3	13.8	19.3	12.3	7.4

浜松市の決算資料及び予算資料等より作成

より、私立保育所等の創設や増築で定員の増加を図ってきた。H25年度からの6年間に、私立保育園の施設整備に合計65億円が投入され、約6,200人の定員増となった。

***** 米国視察記 ④ HighScope教育財団@デトロイト「質の高い幼児教育」*****

デトロイト郊外にある、幼児教育の専門家に知られている「ペリー幼児教育計画」を実施するHighScope 教育財団を訪問した。

「ペリー幼児教育計画」とは、1960年代に、米国デトロイト郊外に住む貧困家庭のアフリカ系米国人の子ども達を2つのグループに分け、一方だけに、「質の高い幼児教育（HighScope型幼児カリキュラム）」を行い、それから約50年経った現在、幼児教育の有無により、知能指数、学業成績、高校卒業率、就職率、逮捕率、持ち家率などについてどうなっているかを追跡調査している研究である。その結果は「質の高い幼児教育」を受けたほうが、優れた結果を示していることが判明した。

この調査研究を行ったノーベル賞受賞者でシカゴ大学の経済学者ジェームズ・ヘックマンは、「質の高い幼児教育」により、子どもたちの人生が良くなり、後に起こりうる社会問題（犯罪）の対応に使われる費用の減少、また成人してからの収入が増えることによる税金収入の増加など、プログラムの費用1ドルあたり7.16ドルのリターンがあるとしている。では、「質の高い幼児教育（HighScope型幼児カリキュラム）」とは？



6月14日(木)18時30分～浜松・地域情報センターで『未来を生き抜く力を子供たちに！ HighScope幼児教育』講演会が開催される。是非、ご参加を。



子ども医療費助成

浜松市は、中学卒業まで、通院が1回500円、入院が1日500円

子どもの医療費助成について、国は0才から就学前までの家計の自己負担を2割とする助成を行っている。さらに、各県や各市町はそれぞれ独自の政策として上乗せの助成を行い、家計の自己負担額を軽減している。

浜松市では0才から中学卒業までの医療費について助成を行い、自己負担額は、

通院が1回500円、入院が1日500円である。ちなみに、磐田市や湖西市は0才から中学卒業まで自己負担額は無料で、御前崎市や焼津市や沼津市などは高校卒業まで無料となっている。これら政令市以外の市町は、静岡県からの補助金を充当して医療費助成を行っている。

■表4 子ども医療費助成 (単位:人、億円)

		H25	H26	H27	H28
乳幼児	入院	6,308	5,923	5,855	5,779
	通院	753,129	759,209	749,291	757,538
	億円	11.3	11.6	11.1	11.2
小中学生	入院	1,951	1,830	1,994	2,101
	通院	657,239	673,744	698,703	714,178
	億円	13.0	13.6	14.3	14.8
合計	億円	24.3	25.2	25.4	26.0

浜松市の決算資料より作成

【予算額は年間約26億円】

浜松市では市単独で毎年約26億円の予算を組み、家計の医療費を助成している。表4を見ると、乳幼児の入院・通院・助成額は、ほぼ一定となっているが、小中学生の通院は漸増しており助成額も漸増傾向にある。

県は、今年の秋より、子ども医療費助成の対象を高校卒業までに拡大するとした。独自に予算措置をしている政令市の浜松市と静岡市はその対象外だ。浜松市民も県民税を払っており、不公平感は否めない。今後の動向に注目したい。

執筆 = 西川公一郎：元浜松市議会議員、防災士
 (公社)子どもの発達科学研究所 事務局長
 浜松市中区 在住 ko-ichi@24kawa.org